

令和元年6月26日現在

機関番号：32633

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2017～2018

課題番号：17H07113

研究課題名（和文）施設内分娩におけるケア提供者から女性への『軽蔑と虐待』尺度の開発

研究課題名（英文）Development of a Scale to Measure Midwives' Perception of 'Disrespect and Abuse' of Women during Facility-based Childbirth

研究代表者

下田 佳奈 (Shimoda, Kana)

聖路加国際大学・大学院看護学研究科・助教

研究者番号：70803774

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、分娩ケア提供者から女性に対する『軽蔑と虐待 (Disrespect and Abuse : D&A)』行為についてケア提供者側の認識の実態を明らかにし、測定用具の開発を試みるものである。

タンザニアの助産師および助産学生・教員合計210名から質問項目への回答を得ることができた。D&Aに関する認識として、実施が許容されるものであるか否かを問うたところ、最も許容してはならないという結果となった行為は「女性に対する賄賂の請求」であった。反対に、許容してはならないと考える行為として最も割合が低い結果となったのは、「内診時に下半身を布で覆わないこと」であった。現在尺度化に向けて分析を継続中である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ケア提供者自身が報告する形の『D&A』の尺度が開発されれば、ケア提供者が自分たちの働く環境における実態を把握し、自らのケアを内省する道具とすることが可能となる。またそれらの結果を用いて、どのような現任教員を実施すれば『D&A』を削減および予防できるのかを模索するという、応用・発展も可能となるところが、本研究結果によりもたらされる学術的意義である。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to develop a measurement tool and clarify provider's perception of "Disrespect and Abuse (D & A)" of women.

The quantitative data were revealed from 210 midwives and midwifery students and faculties in Tanzania using the questionnaire. "Requesting bribe for care" was resulted as the most unacceptable D&A behavior, and "Not covering lower parts of the body with a cloth when giving vaginal examination" was as the most acceptable behavior. The data are currently being analyzed for developing a scale.

研究分野：助産学

キーワード：Disrespect and Abuse Respectful care 分娩ケアの質 施設分娩

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

世界の妊産婦死亡率は1990年の10万対380から2013年の10万対210へ改善した(UN, 2015)。しかしながら妊娠と出産による女性の死亡は、2013年は289,000人と推定されており、この多くは発展途上国で起こっている(UN, 2015)。2015年には、国際連合によって15年後に向けた「持続可能な開発目標 (SDGs)」が設定された。その中でも、母子保健関連問題は過去15年間に目標を達成できなかったことから現在も重要な課題であると指摘されている(UNDP, 2015)。

いまだ世界では妊娠・分娩によって死亡する母子が後を絶たないが、その解決策として病院施設での有資格者による分娩が強く推奨されてきた。しかし現在、発展途上国においては施設分娩数増加の緩慢が問題に挙げられている。背景として、女性がケア提供者から『軽蔑と虐待 (Disrespect & Abuse : D&A)』を受けているという研究報告が近年増加してきており、この問題に多くの関心が集まっている。分娩中の『D&A』とは、以下のような行為を含む (Bowser and Hill, 2010)。

- (1) 身体的暴力 (例: ケア提供者側の指示に従わなければ叩く)
- (2) 同意を得ない (例: 会陰切開をする際に説明しない・同意を得ない)
- (3) プライバシーに無配慮 (例: 他人の前で処置を実施、また個人的な質問をする)
- (4) 尊厳を奪う (例: 怒鳴る、叱る、馬鹿にする)
- (5) 相手の特性による差別 (例: HIV 陽性、思春期妊婦、低所得者への差別)
- (6) ケアを放棄 (例: 産婦が陣痛の痛みを訴えていても無視する・放置する)
- (7) 施設への拘束 (例: 治療費を払うまで退院させない、賄賂を要求する)

タンザニアは、世界の妊産婦死亡の70%近くを占めるサブサハラアフリカに位置し、2015年の妊産婦死亡率は556と世界平均の216を大きく上回っている (TDHS, 2016; UNICEF, 2018)。タンザニアでは病院施設において出産する女性は国内の全分娩の50.2%にしか満たず、1991年の52.6%と比較してもこの20年間増加がほとんどみられていない状態である (TDHS, 1993; TDHS, 2010)。近年、タンザニアを初めとする多くの発展途上国において、施設分娩率増加の緩慢が指摘されており、その背景として女性がケア提供者から『D&A』を受けているという研究報告が増加してきている。タンザニアでは施設で出産をした女性の18 - 20%が、医療者から何らかの『D&A』を受けたと報告しており (Sando, 2016; Kruk, 2014)、また医療者の96.1%が何等かのD&Aを実施したことがあると回答している (Shimoda, 2017)。

2014年には世界保健機構 (WHO) が“ The prevention and elimination of disrespect and abuse during facility-based childbirth ” と称して声明文を打ち出しており (WHO, 2014)、『D&A』は発展途上国だけでなく先進国を含んだ喫緊の国際的問題であることが示された。このように、女性の受診行動を妨げている要因には、医療を提供している側の問題が挙げられる。つまり、女性が医療者に対して不信感を持ち、医療者との信頼関係を築きにくいということから女性が医療機関へのアクセスを控えているということが考えられる。しかし当研究分野は、数えられる程しか論文がない未開拓分野であり、WHOも国際的で科学的な『D&A』の定義や信頼性および妥当性の高い測定用具がほとんど検討されていないことを指摘し、早急に研究を進めていくことを強く求めている。

2. 研究の目的

『軽蔑と虐待 (D&A)』について、ケア提供者からの『D&A』に対する認識に関する質問紙を用いて測定尺度開発を試みた。

3. 研究の方法

(1) 研究デザイン

尺度開発: 横断研究デザイン

(2) 研究対象者

タンザニアにおける大学助産学教員・大学院生・学部生、および病院に勤務する助産師 (妊産婦を対象とする勤務場所での勤務経験があるその他の看護職を含む)

(3) 対象者数

妥当性の検証に必要なサンプルサイズは、1項目を7人として算出した。妥当性を検証する質問項目は23項目のため、161例となった。有効回答率を85%とし、190例とした。

(4) 測定用具

自記式質問紙を用いて、以下の項目を収集した。

- ・参加者の個人特性 (6項目)

- Women-Centered Care に関する質問項目（23 項目）5 件法
- Disrespect and Abuse に関する質問項目（22 項目）5 件法
[質問例]

How do you consider the attitudes and behaviours enumerated in each of the following statements?						
STATEMENTS		Strongly Agree	Somewhat Agree	Neither	Somewhat Disagree	Strongly Disagree
10	It is OK to tell a woman not to take any food or/and drink during labor even when her progress is normal.	5	4	3	2	1
11	When women does not comply with midwife's request, it is OK to say to her "I will take you to the theatre" or "your baby will be poor outcome".	5	4	3	2	1
12	It is OK to scold a woman when she does not comply with midwife's request.	5	4	3	2	1
13	It is OK to slap woman's leg when she does not open her legs during second stage of labor.	5	4	3	2	1
14	It is OK to push woman's abdomen during second stage of labor to rush delivery even for other than in emergency.	5	4	3	2	1
15	It is OK not to use anesthesia when they give episiotomy, or when they suture her perineum tear.	5	4	3	2	1

- Caring Nurse-Patient Interactions Scale (CNPI 23 項目) 5 件法
[質問例]

How important do you consider the attitudes and behaviours enumerated in each of the following statements?						
		Extremely	A lot	Moderately	A little	Not at all
13	Help them to explore the meaning that they gave to their health condition.	5	4	3	2	1
14	Help them to recognize the means to efficiently resolve their problems.	5	4	3	2	1
15	Help them to see things from a different point of view.	5	4	3	2	1
16	Try to identify with them the consequences of their behaviour.	5	4	3	2	1
17	Consider them as complete individuals, show that I am interested in more than their health problem.	5	4	3	2	1
18	Encourage them to be hopeful, when it was appropriate.	5	4	3	2	1

(5) データ収集・分析

リサーチアシスタントが研究対象者への研究内容の説明、質問紙の配布・回収を実施した。

記述統計および項目分析を実施した後、信頼性および妥当性の検証、因子分析による構成概念妥当性の検討を行う。また、Caring Nurse-Patient Interactions Scale (CNPI) との相関係数を求め、併存妥当性を検討する。なお、それぞれの属性に対する認識の差を問うための多変量解析も実施していく。

4. 研究成果

タンザニアにおける大学助産学教員・大学院生・学部生、および病院に勤務する助産師合計 210 名へ質問紙を配布し、全員 (n=210) から回答を得ることができた。

平均年齢 34.5 歳、大半が臨床助産師 (77.6%) であり、学生 (13.8%) および教員 (1.4%)

は少数であった。公立病院での勤務が一番多く（78.6%）、平均勤務経験年数は9.4年であった。およそ半数が学士号を取得しており（43.8%）、次に多いのは準学士号（32.4%）であった。

Disrespect and Abuse (D&A)に関する認識を問う項目22項目の内、それぞれの行為に関して実施が許容されるものであるか否かを問うたところ、最も許容してはならないという結果となった行為は「女性に対する賄賂の請求」(93.3%)であった。続いて多くみられた項目として、「会陰切開時に同意を取得しない」(92.9%)、「HIV陽性の女性のケアを拒否する」(92.4%)が挙げられた。その他、90%以上の対象者が許容してはならないと回答した項目は、「陣痛発来で入院後、分娩まで胎児心音を確認しない」「測定していない項目に関してパルトグラムに記入すること」「分娩室への到着が間に合わずに女性が一人で出産すること」等がみられた。

反対に、許容してはならないと考える行為として最も割合が低い結果となったのは、「内診時に下半身を布で覆わないこと」(17.6%)、「未払いの女性を退院させないこと」(38.6%)であった。その他、「女性が陣痛に苦しんでいる際、ねぎらう声をかけない」、「女性が助産師の指示に従わない場合、叱る」、「女性が助産師の指示に従わない場合、“手術室に連れて行くよ”“赤ちゃんは死ぬよ”等を言う」等の行為について、60%程度の対象者が許容してはならないと回答している。逆に、4割の対象者はこれらの項目に対して許容範囲であるとの回答がみられた。

その他の結果については、現在尺度化に向けて因子分析を実施し因子構造の確認を実施中である。また、今後属性による認識の差を測定するために多変量解析を実施していく予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 4 件)

増澤 祐子, 小黒 道子, 下田 佳奈, 白倉 真理子, 野矢 麻子, 堀内 成子
国際共同研究におけるミャンマー拠点形成の実際. 聖路加国際大学紀要 5 54-56, 2019 年
[査読無し]

Shimoda K, Horiuchi S, Leshabari S, Shimpuku Y.

Midwives' respect and disrespect of women during facility-based childbirth in urban Tanzania: a qualitative study. *Reproductive Health* 15(1) 8.

<https://doi.org/10.1186/s12978-017-0447-6> [査読有り]

Mwilike B, Shimoda K, Oka M, Leshabari S, Shimpuku Y, Horiuchi S.

A Feasibility Study of an Educational Program on Obstetric Danger Signs among Pregnant Adolescents in Tanzania: A mixed-methods Study. *International Journal of Africa Nursing Sciences*. Volume 8, 2018, Pages 33-43 [査読有り]

新福 洋子, 下田 佳奈, 堀内 成子.

タンザニアでフィールド研究するために必要な準備：文化的理解・倫理審査・安全対策. 聖路加国際大学紀要 4 33-37 2018 年 [査読無し]

〔学会発表〕(計 2 件)

Shimoda, K. Horiuchi, S., Leshabari, S.

Prevalence of Nurse's and Midwives' Self-Reported Disrespect and Abuse of Women During Facility-Based Childbirth in Tanzania. The 6th Quadrennial Conference of The East, Central and Southern Africa College of Nursing 2018 年

Mwilike, B., Shimoda, K., Oka, M., Leshabari, S., Shimpuku, Y., Horiuchi, S.

A Feasibility Study of an Educational Program on Obstetric Danger Signs among Pregnant Adolescents in Tanzania: A mixed-methods Study

グローバルヘルス合同大会 2017 第 58 回日本熱帯医学会大会・第 32 回日本国際保健医療学会学術大会・第 21 回日本渡航医学会学術集会

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況 (計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究分担者
研究分担者氏名：
ローマ字氏名：
所属研究機関名：
部局名：
職名：
研究者番号（8桁）：

(2)研究協力者
研究協力者氏名：
ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。